

キャラクター名
荒島ズオウ

プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー	ワークス	その他B	カヴァー	刑事
	サラマンダー				
オプション		年齢	24	性別	男性
覚醒	死	衝動	嫌悪	初期侵食率	33%
出自	疎まれた子	経験	裏社会31~35	邂逅	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	32
肉体	4	0	0			4	行動値	6
感覚	0	1	0			1	(非装備時)	6
精神	2	0	1	1		4	戦闘移動	11
社会	2	0	0			2	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	2		交渉		
回避	1		知覚	1		意志	2		調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:動物	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
素手	白兵	4r		-5		
根源ノ残炎	RC	9r+2		15		3+4+6 浸蝕10
黎明ノ劫火(Eロイス発動)	RC	9r+2		38		3+4+6+7 浸蝕14
ファイアブルーブ(100↑&Eロイス発動)	RC	10r+2		75		3+4+5+6+7 浸蝕18

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
応急手当キット	
ぐしゃぐしゃの舌が出ている犬の着ぐるみ(頭部だけ)	
プレーバー:携帯電話(スマホ)	
情報収集チーム(清先輩)	
公安手帳	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
49永遠の炎 エターナルブレイズP		N		
?????	P 好奇心	N 憎悪		
着ぐるみのヘッド	P 親近感	N 執着		
蒼狼 氷和(PC2)	P 遺志	N 劣等感		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6 残り財産P: 1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンソレイト:サラマンダー	2	2	Xジャー	-	-	シンドローム	-	
効果: 組み合わせた判定のクリティカル値を-LV値する								
災厄の炎	6	4	Xジャー	至近	範囲選択	<RC>	-	
効果: [LV*3]の射撃攻撃、範囲選択								
プラズマカノン	5	4	Xジャー	視界	単体	<RC>	100↑	
効果: [攻撃:[LV*5]]の射撃攻撃を行う								
結合粉砕	5	4	Xジャー	-	-	シンドローム	ピュア	
効果: エフェクトを組み合わせた判定ダイスを+LV個する 対象の装甲値を無視してダメージを算出								
エターナルブレイズ	5	4	ヒットアップPロイス	至近	自身	自動	Dロイス	
効果: ラウンドの間、エフェクトの攻撃の威力を+[LV*4]する そのラウンドの間行動力は-5される								
?????(閃熱の防壁)	2	4	オートアクション	視界	単体	自動	ピュア	
効果: 対象にダメージが適応される直前に使用。ダメージを-[lv+2]D点する								
メモリー【????】	1	-	-	-	-	-	-	
効果: 忘れてはならない確かな記憶								
セリアンスローブ	1		Xジャー	至近	自身	自動		
効果: 動物、人間、獣人になれる								
温度調節	★		Xジャー	至近	自身	自動		
効果: ビーバーイーツで料理を運ぶ際に必要								
炎の理	★		常時	至近	自身	自動		
効果: 炎を作り出せる								
不燃体	★		常時	至近	自身	自動		
効果: 熱に強い事を表す 炎や寒さでダメージを受けない								
効果:								
効果:								

神沢市の刑事として活動している隼のHオーヴァード
 学生時代に自宅への放火による大火事で顔面と身体に大火傷を負ってしまった
 両親と共に大火傷を負い病院に運ばれた後に3人もも死亡として確認されたがその後にサラマンダーのシンドロームに覚醒する
 自身の焼け爛れた顔面とシヤチのような姿、そして両親の死を突きつけられて絶望をする。

顔が焼け爛れている事により外も歩けずにストレスが溜まって鬱状態が続いた後に着ぐるみの頭部をゴミ捨て場で見つける
 それを被り物として素顔を隠して生きていくことを決意する
 学生時代もともと不良っぽい所があったため荒々しい言動が目立つがこれでも神沢市の公安で活動している刑事である

刑事になりたての頃にとある先輩から言われた【心に従え】という言葉をいつでも忘れずにいる。
 【いつどんな時でもお前の"炎"はお前の物だ、お前がそう思ったのならば、お前がそう願ったのならば、その"心"と"炎"に従え】

口が悪いのはもともと不良っぽい部分があったからというもそうなのだが
 これでもちゃんと警察としての基礎的な知識と技能を学ぶための学校や試験はきちんと合格した上で刑事となっている
 公安に所属している以上は目の前に自分達がいる以上、"犯罪者共には調子に乗らせない"と圧を掛ける等の行為も積極的に行う
 ズオウ自身は相手が最初の一発を放ってきたのなら話は別として飽くまで"戦闘になったトリガーは相手にある"というのを押し付ける為である
 ズオウ自身からは手出しをしないが相手が攻撃してくるなら鎮圧という目的で戦闘をする

ズオウ自身の孤独な時間が多すぎると色々と不安定になる事が多くなる
 素顔を見られたくない為1人の時間は多い方が気が楽なのだが孤独な時間が多いと寂しくて不安定になるという"矛盾"を抱えている